



WEEKLY REPORT

世界に希望を生み出そう

会長 鈴木 司郎 幹事 高橋 雅明 例会 毎週木曜 12:30~13:30 旅館 エビスヤ 事務局 山形県高島町高島 911-2-2F tel 0238-52-5440 fax 52-5444

本日の例会 [2656 th] 2023. 7. 27

会員卓話 長谷川 平内 君

前回の例会 [2655 th] 2023. 7. 20

来訪 第2800地区 職業奉仕委員会 委員長 吉澤彰浩 君

- ・点鐘12時30分 鈴木 司郎 会長
- ・ロータリーソング 四つのテスト 我らの生業
- ・ソングリーダー 梅津陽一郎 君
- ・S A A 木村健彦 君

会長あいさつ

鈴木 司郎 会長

みなさんこんにちは。
まず初めに本日のゲストをご紹介します。
国際ロータリー 第2800地区 職業奉仕委員会 委員長 吉澤彰浩君です。吉澤君は米沢中央ロータリークラブに所属されております。後ほどご講和をいただきます。

先週の例会では、吉野 徹 ガバナー補佐をお迎えしクラブ協議会を開催いたしました。それぞれの委員長より、今年度の活動計画を発表していただきありがとうございました。

さて、今年は例年にない本格的な梅雨が続いているな～あと実感しております。
各地で大雨の被害、又は梅雨の合間の猛暑日等まさに不安定な天気左右されております。今年の7月から9月までは、例年より非常に高い気温が予測されると気象庁でも発表されております。世界の7月の気温の高いところを調べたところ何と、リヤドで45.8度、バクダッドでは46.3度と驚異的な気温が観測されております。

皆様も熱中症や、飲みすぎ等、体調に留意されこれからの夏を乗り越えていきましょう。
それではごゆっくりお食事をお取りください。

《幹事報告》

高橋 雅明 幹事

- ・「まほろば和太鼓」まつりが12月10日に開催されます。その後援団体としての要請があり承認をいたしました。
- ・報告が遅くなりましたが、7月6日の例会の際に卓上にありましたお菓子は甲子園野球の対戦チームからいただきました。

《委員会報告》

親睦活動委員会
島崎 裕司 委員長

- ・8月10日に「納涼会」を開催します。「ちゅうしん蔵」 18:30~ジャズコンサートを合わせて開催いたします。多数のご参加をお願いいたします。

スマイルBOX

- ・先週体調を崩し、クラブ協議会を欠席し山村副委員長に発表していただきました。
島崎 裕司 君
- ・本日のゲストはJC時代、米沢JCの理事長、山形県のブロック長、東北ブロック長、そして日本JCの議長を歴任された素晴らしい方です。ご来訪に感謝します。
土屋 衛 君
- ・私と本日のゲストはJC理事長の同期です。
青木 道春 君
- ・青木君が理事長の時私は専務でした。ゲストには大変お世話になりました。
金子 良弘 君
- ・吉澤職業委員長のご来訪に感謝して。
鈴木 司郎 君

《出席報告》

会員数 44名 出席者数 22名 出席率 50.00 %
前回修正44名 出席者数 30名 出席率 68.18 %

来訪 第2800地区 職業奉仕委員会 委員長 吉澤彰浩 君



ブ定款第6条 五大奉仕部門の2で明文化 Cf.五大奉仕(クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕)た150文字の文章。「奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門

職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという目的をもつものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと。そして、自己の職業 上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる」→ それ以上でもそれ以下でもない(明文化)この標準クラブ定款第6条・五大奉仕部門の2を解説すると以下の4つようになります。「事業・専門職務の道徳的水準の向上(①職業倫理)」「品位ある業務は全て尊重(②天職論)」「職業を活かした社会奉仕は職業奉仕(③奉仕の理想)」「職業奉仕はロータリアン個人及びクラブ双方の責務(④職業人としての在り方)」⇒ “ここに実践のヒント” 3、絶対的な価値化問題 ⇒「たった一つの正解を探すように、真理探究するがごとく語られる」 職業奉仕の概念は、ロータリーの歴史の中でその時々状況に応じて徐々に積み重ねられ形成。→ ロータリーにおける「職業奉仕」の概念は歴史的蓄積・歴史そのものと言っても過言ではない。

また、人によつての説明が異なり、まるで一本の大木のように語られる。→ しかし、職業奉仕は「(多様な樹木によって形成される)森」(RI2800地区としての考え方)「職業奉仕の森には、生い茂るようになるまでの歴史は様々な樹木が互いに影響し合つて形成」様々な樹木、大きく分けて主に6本に分類。どれか該当すればそれは職業奉仕です。

「①職業倫理=尊敬、信頼」「②職業=社会奉仕(シュルドン)」「③奉仕=継続的利益のための人間関係の基本(奉仕の理想・シュルドン)」「④職業奉仕=顧客獲得のための最善の経営方法(シュルドン)」「⑤職業=天職(尊重、崇高)」「⑥職業を活かした社会貢献」。そのどれもが職業奉仕の樹木。全てを対象にして考えてみましょう。では、実際、職業奉仕はどこから「学び」、またその「実践」はどうしたらよいのでしょうか? ③ 職業奉仕の実践 昨年、今年とRI2800地区の地区研修・協議会、鈴木一作PG・カウンセラー・伊藤三之GN・各49クラブの職業奉仕委員の皆様と開催しディスカッションを重ねました。地区職業奉仕委員会にて「事業の意義と達成に向けて」という目的・5つの小グループでディスカッション。様々な意見を頂戴した中で、個人・企業とクラブが育っていくために実践できる手法、として総括。

クラブにおいてどんな取り組みが可能か? 提案として「行動することの中に、職業奉仕の概念、意味、意義を見出していく」例えば…。会員卓話 ex「我が人生と職業を語る」と題して、「自分の生業を通じてどんな社会貢献が。」語る、聴く。職場訪問 ex「素晴らしい綺麗な職場だったなあ、ではなく、この事業所はそんな社会奉仕が」気づき。 LookとWatchの違い。会員卓話では寒河江RC鈴木一作会長時代全例会で会員卓話。吉澤の職業奉仕の実践の紹介 先日、米沢工業・米沢商業の1年生200名向けに、「米沢の魅力とは?」という題目で講演。立場は、米沢観光協会副会長・米沢市観光振興委員長で。これも、己の職業上のスキル・技術を生かした青少年への奉仕も職業奉仕に含まれるわけです。ここから先は、吉澤の私見。「職業奉仕とは何か?」についてです。「仕事、職務上のスキルを通じてどのような社会奉仕、社会貢献をしているか、ロータリアンとして気づきを得ていく活動自体が、職業奉仕の実践」⇒ ロータリアンとしての「学び・成長」 鈴木一作PGは、こう言っています。「親睦」「学び」「成長」「奉仕」の正しいスパイラルがロータリアンとしての在り方だと。その際はハーバート・テラーが提唱した「4つのテスト」に照らし合わせていくのも大事だと思います。④まとめ ロータリーには様々なWord(言葉)が登場します。

ロータリーの第一標語「超我の奉仕」第2標語「最も良く奉仕したのも多く報いられる」。私がロータリーに入って出会った好きな言葉「入って学び、出でて奉仕せよ」インプットだけでなくアウトプットはロータリーの素晴らしい。ロータリアンにとって様々な職業奉仕があるが、私にとっては「integrity(高潔性・真摯さ・ひさむきさ)」がしっくりきます。→ ロータリアンとしての矜持(きょうじ)・プライド・誇りでもあります。

結論として世の中には様々な職業奉仕の樹木があります。地区には1500名のメンバー、1500の樹木。ご自身で自分の職業奉仕の樹木はどんな木か見つけて頂き、大きく育てて頂ければ幸いです。最後に大事な事。

活動の最後の方で創始者ポール・ハリスはロータリーからロータリーの活動の第一線を退き、経営学としての職業奉仕を唱えたA・F・シュルドンはロータリーを退会しています。どちらかではダメ。→ 現在のロータリーは1930年代に完成されています。必要なのは「忍耐・トランス(寛容)」。 ご清聴ありがとうございました。

次回の例会 [2657 th] 2023. 8. 3

(一社)志し教育プロジェクト 実行委員

Focus 代表 宮内則光 氏

本日は高島RC様の例会にお招き頂き誠にありがとうございます。まずはご縁を頂きました事に感謝を申し上げます。高島RCさんには、隣町でもあり昔活動していたJC繋がりもあって、とても親近感がございます。自分のような若輩者が職業奉仕を語れというのは大変おこがましく存じます。何故、現在、地区の委員長をやっているか?経歴にある通り、2020-2021に当クラブから齋藤榮助ガバナーを輩出させて頂きカバン持ちをして地区に関わったのがきっかけ。昨年の佐藤孝子Gにロータリーは「はいかYESしかないわよ」と。引き続き、伊藤三之Gにも再任を依頼されました。本年職業奉仕委員会アドバイザー鈴木一作PG(寒河江RC)のご指導を頂いております。「職業奉仕」は単年度で突然生まれるものではなく、連綿としたロータリーの歴史です。前委員長の伊藤三之GE「職業奉仕入門」(山形北RC)、前々委員長の藤野和男氏「わかりやすい職業奉仕」(大江RC)に敬意を表します。

最近、ロータリーに入って良かったなあ、と思えることがありました。この本「ロータリーに入ろう!」に出会えたこと。本年2月に地区事業でクラブ活性化セミナー開催を、この本の著者、高崎RCのPG、田中久夫先生のお話を直接聞いたこと。田中先生は、ロータリー入会のメリットやロータリーの魅力をこ言い切りました。「人生の目的を知ることが出来る(人生の意義・自分磨きの旅)」と。鳥肌が立ちました。私の今までの人生は何だったのだろうと。まさに、田中久夫前、田中久夫後というターニングポイントでした。これからは、ロータリーに入って良かったなあ、から、ロータリアンで良かったなあ、という活動にして行かなくては考えているところです。 まずは、自己紹介。米沢中央RC所属。2016年入会(やっつ7年)。現在、満55歳。仕事は、米沢で吉亭という料理屋を経営。他、このプロフィールにはありませんが様々な社会活動。本日は、30分でのお話。4つのタームで分けてお話をしたいと思います。

① ロータリーの歴史 ②職業奉仕の森 ③職業奉仕の実践 ④まとめ
① ロータリーの歴史 1905創始 ポール・ハリス(青年弁護士・発案者)と次にあげる3人の仲間と立上げ。シルベスター・シール(石炭商)、ガスター・バローア(鉱山技師)、ハイラム・ショーレ(仕立屋)当時のシカゴ、商道徳の欠如 → 「親睦と互恵取引」 ロータリアン同士の親睦と信頼の上に立て、互いを裏切らない取引(当時は原価取引)をしよう ポール・ハリスは、信頼できる友人や仲間が欲しくてロータリーを作ったと言われています。当時、会員同士は原価取引して一般のお客様に取引するものだから大そう儲かったとか聞いています。また、ロータリーの名称は「会員の事務所を持ち回り(英語でin rotation)、で会合を持った」から。 歯車デザインのマーク・徽章(きしょう)は、馬車の車輪を模したものの。初期に幾度かの変遷を経て1924年から現在の形に。

1906入会 弁理士ドナルド・カーター(後に社会奉仕の父)「奉仕・拡大」第一標語「超我の奉仕(心)」(ロータリーを永続的に発展させていくならば、自分達の利益だけでなく社会の共感を)「外向き」余談ですが、カーターの入会前に「ドナルド・カーター入会拒否事件」というのがあって、自分だけの親睦や利益だけを考える会を、ドナルド・カーターは笑い飛ばし入会を拒否したそうです。シカゴクラブは、ドナルド・カーターの為に、互恵親睦の2つの定款に、3つ目の奉仕を加え、彼を迎えたそうです。シカゴクラブで、社会奉仕としてシカゴ市に「トイレ」を建設したのが、ロータリーの社会奉仕の始まりでした。

さて、この100年前より、今と同じように、内なる親睦(インナー、仲間との親睦)VS社会性(アウトター・外向き。奉仕)という、ロータリーの在り方が議論、大変奥深く面白いと思います。この後、いよいよ「職業奉仕」の理念が登場します。

1908入会 アーサー・フレデリック・シュルドン「経営学としての職業奉仕の理念(黄金律)」第一標語として、「超我の奉仕」(Service Above Self)という(思想)があり、があり、第2標語(行動)を表す、最も良く奉仕する者、最も多く報いられる「He profits most who serves best」 → 職業を通じて社会に奉仕したから報酬を得ている。職業を通じての社会貢献が継続的な事業の発展。→ 日々、ロータリアンとしての自己研鑽と職業奉仕の理念の実践が、個人、企業、社会に利益を齎す。 1932ハーバート・テラー「四つのテスト」を作成。(ジュエルティエ(株)→クラブ・アルミニウム社(調理器具訪問販売・40万ドルの負債)ロータリアンとしての行動指針「四つのテスト」、1943年のRI理事会にて公式プログラムに採択。 昨今のRI。戦略計画(2010-2013)5つの中核的価値「奉仕service」「親睦fellowship」「多様性diversity」「高潔性integrity」「リーダーシップleadership」 さて、本題。 ② 「職業奉仕の森」について「何故、職業奉仕は難しく感じるのか?」その原因は?幾つかある。地区の分析では3つ原因。 1、造語問題 2、正確に理解していない問題 3、絶対的・かつ画一的な価値化問題

1、造語問題 ⇒「職業奉仕という言葉自体がロータリー特有の造語である」[Vocational(天職) Service邦訳]→造語問題。 職業は他に「Profession(専門性を活かした仕事)」、「Occupation(単なる収入源)」もある。
2、正確に理解していない問題⇒「職業奉仕の公式定義を外れて、職業奉仕を解釈し語ってしまうこと」 公式定義は以下、2019改訂の標準ロータリークラブ

《メーカーアップ》

桑島 周士 君・吉田 弘二 君・高橋 正人 君
皆川 賢治 君・戸田 英夫 君・高橋 宏之 君
青木 道春 君・金子 良弘 君・島崎 裕司 君
大塚 栄一 君